

1 学校教育目標

- 自ら考え、自ら学ぶ人      ○ 感性あふれる、心豊かな人      ○ 心身を鍛え、たくましく生きる人

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

- |         |                              |                                    |
|---------|------------------------------|------------------------------------|
| ○学校像    | ○ 生徒一人一人の可能性を伸ばせる学校          | ○ 地域・保護者・生徒から信頼される学校               |
| ○児童・生徒像 | ○ 勤勉な生徒      ○ ルールを守り礼儀正しい生徒 | ○ 他者を思いやる人      ○ 夢を育む人            |
| ○教師像    | ○ 教職としての専門性を高める教師            | ○ 自他の人間性を高める教師      ○ 組織で教育を実践する教師 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

<学校の現状>

- ◎学校について      [よさ] 創立17年目を迎え、千寿桜堤中学校としての伝統が日々の活力と充実感の源となっている。  
[課題] 新学習指導要領全面実施を踏まえた学校経営方針の具現化に向けた教職員の組織的実行力の向上。
- ◎生徒について      [よさ] 素直で明るく誠実、授業は真剣に取り組む。特別活動・部活動にも意欲的に活動している。  
[課題] 自ら課題を設定し、解決していこうとする力を向上させることが課題である。
- ◎教師について      [よさ] 教員一人一人が誠実に勤務し、研鑽に努め、個々の授業力向上を図っている。  
[課題] 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、指導と評価の一体化のための評価体制の確立
- ◎保護者・地域について      [よさ] 生徒の教育に関心があり熱心である。  
[課題] PTAのサポータ制度を発展させ、広範な通学地域である保護者をまとめ具体的な活動の充実を図る。

<前年度の成果と課題>

- 成果・コロナ禍の中、生徒は我慢と不便を重ねながらも新しい生活習慣を定着させ、落ち着いた生活習慣と学習に向けた取組ができた。
- ・実際のオリンピック・パラリンピックのプロジェクトをとおり、オリンピック・パラリンピック教育の集大成を図ることができた。
  - ・ICT教育モデル校として、オンライン授業やタブレット等のICT機器を活用した授業を実践し、生徒の学習意欲を高めることができた。
- 課題・主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業を実現させ、今後求められる確かな学力の定着を図る。
- ・ICT教育をさらに推進し、GIGAスクール構想の実現を目指す。
  - ・生徒の自律心を育成し、生徒が主体的に学校生活を充実させることができるようにする。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプランによる確かな学力の定着と学びに向かう力の育成	○	○	○	○	○
2	自律心（自己指導力）に基づいた規範意識の高揚と課題解決能力の育成		○	○	○	
3	道徳教育、特別活動、部活動等を通じた豊かな人間性の育成			○	○	

## 5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプランによる確かな学力の定着と学びに向かう力の育成							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
・学力向上アクションプランの実践を通して、各種学力調査等に対応できる確かな学力を定着させる。		令和4年度区学力調査通過率 各学年・各教科前年度以上 平均正答率・前年度以上 年度末到達度調査 平均正答率・前年度以上				<b>自己評価の際に記入</b>			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	I C T 機器の活用による学習の個別最適化と学力向上	生徒 全教科	通年	AIドリルやeライブラリー等を活用して生徒が自分のペースで学習できるようにし、生徒一人一人の学力と学びに向かう力の向上を図る。	生徒授業アンケート  教員自己評価	関連項目 100%  100%	<b>自己評価の際に記入</b>		
2 継続	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	教員 全教科	通年	教員は単元や授業の目標を明確にし、身に付いた学力を生徒が自覚できる授業へと改善し、確かな学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。	生徒授業アンケート  教員自己評価	関連項目 100%  100%			
3 継続	学習コンテストや単元テストによる学力定着と学力補充	生徒 5教科	5教科 年間2回以上	適宜、学習コンテストや単元テストを行い、生徒の学力の定着度を測り、つまづきを把握し、補充学習をとおして学力の定着を図る。	学習コンテスト、 単元テスト、 到達度調査	生徒全員が合格点クリア			

4 継続	イングリッシュライダー、校外学習を活用した英語力の向上	生徒 英語科他	毎週金曜日 金給 食時	毎週金曜日の昼の放送を英語で行い、聞き取る力や話す力を伸ばすとともに、英語への関心やコミュニケーションの楽しさを味わう。	生徒意識調査等 英語への関心	関連項目 100%
5 継続	体験学習をとおして各教科や道徳の授業、総合的な学習の時間、特別活動等で学んだことを活かし、生きて働く学力の定着	特別活動 総合的な学習の時間 他	年間 適宜	体験学習をとおして各教科や道徳の授業、総合的な学習の時間、特別活動等で学んだことを活かし、生きて働く学力の定着を図る。	体験学習事前事後学習等 生徒意識調査等	体験学習関連項目 100%
6 新規	家庭学習による主体的に学習に取り組む態度の育成	全教科	毎日	生徒が自ら課題を設定し、粘り強く取り組める家庭学習の習慣を定着させ、主体的に学習に取り組む態度を育てる。	家庭学習ノート 生徒意識調査等	家庭学習関連項目 100%

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－２		自律心（自己指導力）に基づいた規範意識の高揚と課題解決能力の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
様々な教育活動において自らの目標や課題を明確にし、自律心（自己指導力）による規範意識の高揚と課題を解決する能力を育成する。		生徒評価肯定回答 100% 保護者評価肯定回答 100% 教員評価肯定回答 100%	<b>自己評価の際に記入</b>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
規範意識や帰属意識の高揚によるよりよい学校生活の構築	生徒、保護者アンケート 学校生活満足度 肯定回答 100% 教員評価関連項目 肯定回答 100%	学校生活のきまりやルールを生徒に自らの課題として捉えさせ、大人たちとともに検討し、帰属意識や規範意識を高めるとともに学校生活の充実を図る。	<b>自己評価の際に記入</b>		
特別活動等をとおした自律心の育成と規範意識の高揚による課題解決能力の向上	生徒、保護者アンケート 特別活動関連項目 肯定回答 100% 教員評価委関連項目 肯定回答 100%	学級活動や学年活動、生徒会活動、学校行事、部活動等において常に個人や集団の目標をもたせ、目標達成を目指すことで主体的に課題解決できる力を育てる			
主体的なキャリア教育をとおした規範意識の高揚と自己実現に向けた課題解決能力の育成	生徒、保護者アンケート キャリア教育関連項目 肯定回答 100% 教員評価関連項目 肯定回答 100%	自己理解と自己分析から自己実現に向けた進路指導を実践し、学校の意義や目的の理解や将来の夢や目標をもたせ学校生活への全員参加を目指す。			
配慮を要する生徒への個に応じた課題解決能力の育成と安心した学校生活の保障	生徒、保護者アンケート 特別支援教育関連項目 肯定回答 100% 教員評価関連項目 肯定回答 100%	週に1回校内委員会を開催し、SC、外部機関との連携を密にし、配慮を要する生徒には個々の目標をもたせ、個に応じた指導を展開し、安心した学校生活を保障する。			

重点的な取組事項－3		道徳教育、特別活動、部活動等をとおした豊かな人間性の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳教育、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動などをとおして個々の感性を磨き、向上心や他者を思いやり、協力しようとする心を育てる		生徒評価肯定回答100% 教員評価肯定回答100%	<b>自己評価の際に記入</b>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳教育をとおした豊かな人間性の育成	生徒、保護者アンケート 道徳教育関連項目 肯定回答100% 教員評価関連項目 肯定回答100%	授業をはじめすべての道徳教育をとおして、内容項目の理解を図り、「考え議論する道徳」を実践することでよりよい生き方を考え、感性を磨き、他者を思いやる心を育てる	<b>自己評価の際に記入</b>		
学級活動による自己有用感の育成と他者への思いやりの心の育成	生徒、保護者アンケート 学級活動 肯定回答100% 教員評価関連項目 肯定回答100%	学級活動やQ-Uを活用して帰属意識を高めたり班活動などをとおして自己有用感や他者と協力したりする心を育成し、学級を安心して過ごせる場とする			
特別活動による社会貢献意識の向上	生徒、保護者アンケート 特別活動 肯定回答100% 教員評価関連項目 肯定回答100%	生徒会活動や学年行事、学校行事をとおして仲間と協力しようとする心や社会に貢献しようとする態度を育てる			
部活動等をとおした帰属意識や礼儀、マナー、他者を思いやる心の育成	生徒、保護者アンケート 学校生活満足度 肯定回答100% 教員評価関連項目 肯定回答100%	部活動をとおして、礼儀やマナーを身に付け、帰属意識を高めるとともに仲間と協力し、他者を思いやる心を育てる			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。